

『現代の国語』第一章「問うこと、語ること」「境目」(p10)の言語活動用「ルーブリック評価」の例

「言語活動」のルーブリック例は、指導書に掲載いたします。ここでは、一例として「境目」のルーブリック評価をご紹介します。

「境目」(川上弘美)自己評価用ルーブリック

1. 本質的な問い

いろいろな出来事をひとつのことばで表現するにはどうすればよいか。

永続的理解

いろいろな出来事をひとつのことばで表現するためには、自分の体験などを整理し、それらに関連づける「言葉」を設定し、論理立てて文章を構成することができる。また、その文章を他者にわかりやすく表現する話し方を工夫するとともに、他者の発表を正確に聞き、関心を持って深めることができる。

2. 学習指導の目標

思考力・判断力・表現力等	A話すこと・聞くこと	ア)目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。
--------------	------------	---

パフォーマンス課題

- ①川上弘美「境目」を読み、「～の境目」ということばで表現できる過去の経験や出来事を書き出す。
- ②数人のグループで書き出した内容を紹介し合い、自分の考えを説明する。
- ③グループでの話し合いをふまえて、「境目」をめぐる自分の体験をクラスで発表する。

3. ルーブリック表

評価の観点	ことばの理解(「言語活動①」)	ことばの活用(「言語活動②」)	学んだことの活用(「言語活動③」)
評価のレベル			
レベル3	自分の考える「～の境目」を、自らの社会や生活と関連付けながら、複数、書き出すことができた。	自分が「～の境目」と表現した理由を、グループ内で、説得力ある言葉で十分に理解できるよう説明できた。	グループ内の話し合いを踏まえて「～の境目」について自らの考えを深め、クラスの前で十分な説得力を持って発表することができた。
レベル2	自分の考える「～の境目」を自らの社会や生活と関連付けながら、1、2例、書き出すことができた。	自分が「～の境目」と表現した理由を、グループ内で説明できた。	グループ内の話し合いを踏まえて「～の境目」について、クラスの前で、自分の考えを発表することができた。
レベル1	「～の境目」が一つも書き出せなかった。	自分が「～の境目」と表現した理由を、グループ内で、言葉で説明できなかった。	グループ内の話し合いを経ても「～の境目」について考えが深まらなかった。発表もできなかった。